開倫塾ニュース2014年7月号巻頭言	2014年5月7日

定期試験で全教科100点満点を取るには

―学校教科書、学校問題集、授業ノートをスミからスミまで「定着」させよう―

開倫塾

塾長 林　明夫

Ｑ１：学校の定期試験の多くの教科でよい点数、できれば100点満点を取ることはできますか。

Ａ　：(林明夫：以下省略)はい、できます。今からお話することを一つ一つ順序よく行えば、多くの教科で 100 点満点を取ることが誰にでもできます。

Ｑ２：１番目にしたほうがよいことは何ですか。

Ａ　：「目標を持つこと」です。「定期試験で 100 点を取るぞ」という目標を持ち、最後まであきらめなければ、誰にでも定期試験で 100 点が取れます。

Ｑ３：目標を持てば、誰にでも１００点が取れるのですか。じゃあ、やってみようかな。２番目は何ですか。

Ａ　：(１)いつ定期試験が行われるのかという「試験の期日」と、教科書の何ページから何ページまでが出題されるのかという「各教科の出題範囲」をできるだけ早く知ることです。

(２)「試験の期日」は、どこの学校でも年間行事予定表をよく見れば知ることができます。

(３)各教科の「出題範囲」は、範囲表をよく見て知ってください。では、出題範囲表がまだ配付されていないときはどうするか。1 学期の最初の定期試験であれば、前学年の学年末試験の出題範囲のあとから、これから行われる定期試験の前週までに学習するところまでが範囲となるのが普通です。

(４)範囲表が配られなくても出題範囲を自分の力で「予想」し、定期試験の日まで 1 分でも多くの時間、各教科で 100 点を取る「準備」をすることが大切です。

Ｑ４：３番目としてどのような準備をするとよいのですか。

Ａ　：(１)各教科の出題範囲について、「学校の教科書」「学校の副教材」「学校の問題集」「学校の授業中のノート」を次の「手順」で一日も早く「学習し直す」こと、1 ページずつ正確に学習し直す」ことです。

(２)そこに書いてあることを一文字、一文字丁寧に読み込むこと。その上で、「ああ、これはこのような意味なんだ」とよくわかること、つまり「理解」することが「やり直し学習」の第一歩です。

(３)語句の意味がわからなかったら、必ず国語辞典や英和辞典を引いて調べること。調べた意

味は「ノート」に書き写し、その日のうちに正確に覚えること。ことばは力です。正確に身に着けていることばの数の多さ、語彙数(ごいすう)で学力は決まります。

Ｑ５：４番目に大切なことは何ですか。

Ａ　：(１)「学校の教科書」「学校の副教材」「学校の問題集」「学校の授業中のノート」をスラスラと読めるようになるまで何回も声を出して読む練習、つまり「音読練習」と、楷書(かいしょ／教科書の書体)で正確に書けるようになるまで何回も書く練習、つまり「書き取り練習」をすることです。

(２)よく「理解」した内容について「音読練習」と「書き取り練習」を繰り返し行う間に、「学校の教科書・副教材・授業中のノート」に書いてあることをスミからスミまで一語残らず正確に覚え切ってください。

(３)「学校の問題集」の試験範囲の計算や問題もすべてやり直す。その上で、なぜそのような答えになるかがよく「理解」できた計算や問題については、同じ計算や問題を繰り返し解く「計算・問題練習」を行うこと。計算や問題を見た瞬間に正解がパッパッパッと条件反射で出てくるまでにすることが、この「計算・問題練習」のコツです。

(４)ただし、なぜそのような答えになるのかがよくわからない・「理解」できないものについては、学校や開倫塾の先生に遠慮なく質問しましょうね。

Ｑ６：「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」ですか。すごいですね。

Ａ　：開倫塾では、この３つの練習に「定着のための３大練習」と名前をつけました。「定着のための３大練習は不可能を可能にする」、つまり、「３大練習は定期試験で全教科 100 点満点を約束」します。

Ｑ７：最後に一言どうぞ。

Ａ　：(１)「学校の定期試験」だけでなく、「英検・漢検・数学検定」の「3 大検定」や「入学試験」でも、「辞書」を活用した「理解」と、「定着のための３大練習」で必ず合格点が取れます。

(２)これに加えて、「3 大検定」や「入学試験」では、過去に出題された 5 年分以上の問題文と設問の「辞書を用いた理解」と「定着のための 3 大練習」を学校の教科書などを復習するのと同様に行えば、限りなく満点が取れます。入学試験の偏差値は誰でも 68 以上になり、どのような学校にも進学が可能となります。

(３)このような「手順」での「学習」は高校や大学、大学院に進学しても、また、社会に出てからも役に立ちます。開倫塾は全塾生の「自己学習能力の育成」を教育目標にしています。開倫塾に在籍する間に、「効果の上がる学習方法」を着実に身に着けて学力を向上させ、「多様な選択肢のある人生」を歩んでください。

― 2014 年 5 月 4 日記―